

おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会  
平成 29 年度事業報告

## 1. 設立背景

小笠原諸島は、平成 23 年 6 月に世界自然遺産に登録され、その稀有な生態系とそこに生息する野生動物を保全するために、人が持ち込む動物も含めた外来種への対応が求められている。また、小笠原にしか生息しない希少野生動物の保全を図る上では、個体レベルで保護が必要である。

小笠原村においては、平成 10 年に小笠原村飼いネコ適正飼養条例を制定し、飼いネコの飼養登録などによる適正飼養を推進するとともに、関係機関や関係団体（小笠原ネコの連絡会議）との協力のもと「人とペットと野生動物の共存」を目標に掲げて飼い主のいないネコ（ノネコ、ノラネコ）対策を進めてきた。これにより、希少鳥獣の生息数の回復などの成果が見られているが、永続的な共存を実現するためには、ネコを含めたペット由来の外来種が新たに生まれることのないよう適正飼養を徹底するとともに、飼い主のいないネコの根絶を目指し、世界自然遺産としての自然的・社会的特性に応じた管理体制を構築することが必要であった。さらには、負傷した野生動物を適時保護することの出来る体制についても望まれていた。

そこで、関係機関・団体の協力のもと、平成 28 年 10 月に「おがさわら人とペットと野生動物が共存する島づくり協議会」を設立、小笠原世界遺産センター内に整備された動物医療機能を有する「動物対処室」に獣医師を配置し、平成 29 年 5 月から動物対処室の運営を開始した。

## 2. 事業実施概要

協議会では、関係機関・団体それぞれが主体的に実施している事業と連携する形で、動物対処室の管理・運営や施設の活用等（診察や治療等）を通じた事業を実施した。

平成 29 年度は希少野生動物の野生復帰に寄与するなど、これまででない成果が出ている。また、これまで動物病院の無かった父島のペットの飼い主からは想定以上の診療のニーズがあった。さらに、各種イベント等において、各種事業の PR 活動や普及啓発活動を行った。

### (1) 外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護に関すること

事業内容：保護された野生生物の初期治療、リハビリ補助など

関係機関等：環境省、東京都小笠原支庁、小笠原自然文化研究所(iB0)などの保護事業

### (2) ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策に関すること

事業内容：捕獲ネコの体調管理、病気・負傷等の一次的処置 など

関係機関等：小笠原ネコに関する連絡会議(ネコ連)の小笠原ネコプロジェクト

### (3) ペット由来の外来種を生み出さないための適正飼養の推進に関すること

事業内容：ペットの診察、病気・負傷等の一時的処置 など

関係機関等：小笠原村の小笠原村飼いネコ適正飼養条例にかかる事業 など

### 3. 事業実施結果

(1) 外来種による被害や人為的影響等を受ける野生動物の保護に関すること

平成 29 年度事業計画	連携先 / 主担当	実施結果概要
<p>①鳥獣保護管理員と連携した負傷個体の初期治療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都の鳥獣保護管理員が保護した負傷個体について、必要に応じて初期治療を施す</li> <li>*主に希少種（特に個体レベルでの保護が必要な種）を対象とし、その他の種については状況に応じて実施する</li> </ul>	<p>環境省 iBO 東京都</p>	<p>鳥獣保護員等から傷病個体の連絡や相談を受けたうえで、処置が必要と判断した個体の治療を実施</p> <p>&lt;平成 29 年度治療・処置実績&gt;</p> <p><u>平成 29 年度に保護された負傷個体 104 個体のうち、27 個体を治療・処置</u>（平成 28 年度以前に保護され一時飼養中の個体を含めると <u>31 個体を治療・処置</u>）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オガサワラオオコウモリ：7 頭</li> <li>※うち 7 月に保護された 1 頭が治療を経て野生復帰</li> <li>・アカガシラカラスバト：2 羽</li> <li>※うち 1 月に保護された 1 頭が治療を経て野生復帰</li> <li>・海鳥類：12 羽</li> <li>・その他の鳥類：10 羽</li> </ul> <p>のべ対応回数：約 260 回 詳細は、5. 獣医師業務治療記録概要 (1) 野生生物を参照 (p8~12)</p>
<p>②島外の専門家と連携したリハビリの補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>島内でのリハビリが可能な希少動物について、施設内または関係団体の施設におけるリハビリを補助する。</li> </ul>	<p>環境省 iBO 東京都</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省がリハビリケージを設置</li> <li>・平成 29 年 4 月に保護したオガサワラオオコウモリについては、IBO 施設にて、リハビリに向けて飼養中</li> </ul>

(2) ペット由来の外来種である飼い主のいないネコ対策に関すること

平成 29 年度事業計画	連携先 / 主担当	実施結果概要
<p>①捕獲ネコの体調管理・駆虫、病気のネコへの処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境省が実施するネコ待合所の管理に関して、駆虫薬等の処方、技術的な助言を行う</li> <li>一時飼養されているネコが罹病した際には一次的な処置を行う</li> </ul>	<p>環境省 iBO ネコ連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネコ待合所の担当者から、一時飼養している捕獲ネコの状態について連絡や相談があった場合対応</li> </ul> <p>&lt;平成 29 年度治療・処置実績&gt; 捕獲ネコ 97 頭のうち、22 頭を治療・処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駆虫プログラム途中の糞便検査や馴化指導等を実施</li> </ul>
<p>②事故等によりケガをしたネコの処置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノネコ等の飼い主のいないネコが負傷した際に、一次的な処置を行う</li> </ul>	<p>ネコ連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲時に負傷した個体には、一次的な処置等を実施</li> <li>衰弱個体には、血液検査、レントゲン検査、尿検査、静脈注射、内服薬処方、皮下点滴等を実施</li> <li>糖尿病のネコについては、検査等ふまえて治療後に状態が安定し、内地搬送（10～3月）</li> <li>妊娠中のネコと出産後の母子ネコの体調管理・処置を実施（3月）</li> </ul> <p>のべ対応回数：約 190 回 詳細は、5. 獣医師業務治療記録概要（2）捕獲ネコを参照（p 12～13）</p>
<p>③島内譲渡ネコの感染症等衛生検査、不妊去勢手術、馴化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲ネコを島内向けに譲渡するために必要な衛生検査、不妊去勢手術、馴化を行う</li> <li>譲渡希望者への適正飼養指導、適性確認の面談を行う</li> </ul>	<p>ネコ連</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネコ連譲渡促進 WG で島内譲渡再開に向けた検討に参画（8/22）</li> <li>東京都獣医師会担当理事との意見交換を実施（11/18、3/13）</li> <li>東京都獣医師会担当理事の協力を得て避妊・去勢手術を試行（3/11～14）</li> <li>室内飼養の推進、譲渡候補者のリスト化、詳細な譲渡方法を検討</li> </ul>
<p>④譲渡促進のための情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲ネコの内地での譲渡先を確保するため、獣医師会と連携した情報発信を行う</li> <li>ネコ連ホームページの運用を行う</li> </ul>	<p>ネコ連 獣医師会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内地イベントに参加：4回（9/30、11/5、2/12、2/17・18）</li> </ul>

(3) ペットの適正飼養の推進

平成 29 年度事業計画	連携先 / 主担当	実施結果概要
<p>①ペットの適正飼養指導、健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開放日時：毎週 月、水、金 8:30～11:30、13:30～16:30</li> <li>・ * 事前予約制とする。</li> <li>・ * 開放日時外・休日・夜間は村役場が窓口。時間外料金を徴収。</li> </ul> <p>処置内容：健康相談、健康診断（血液検査等）、ワクチン注射、不妊去勢手術、一次治療（外用薬、内用薬の処方含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ * 事故等による緊急的な処置や獣医師がやむを得ないと判断した開放日時外の処置及び往診による処置についても、所定の手数料を徴収した上で実施できることとする。</li> <li>・ * 宿泊を伴う処置は実施しない。</li> </ul> <p>手数料：初回 2,000 円、2 回目以降 1,200 円 ほか（詳細は別途規定）</p>	<p>小笠原村 島しょ保健所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療回数は、イヌ 461 件、ネコ 194 件、その他（モルモット、ハリネズミ、ニワトリ）11 件で計 666 件</li> <li>・ 1 週間（開放日：3 日）に平均 15 件程度の診療を実施</li> <li>・ 初診の飼い主に対しては、マイクロチップの装着確認と装着推奨を実施（新規装着：イヌ 2 件、ネコ 2 件）</li> <li>・ 受診率は上半期までで 3 割弱だったのが年度末には 4 割強に上昇</li> <li>・ 診療内容別にみると、イヌの場合は皮膚疾患が多いほか、老齢個体の口腔疾患や免疫疾患の治療にあたっている。ネコの場合は泌尿器や腫瘍の疾患が多くなっている。</li> </ul> <p>※詳細は 6. ペット診療の内容を参照 (p 13)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イヌとネコの全ての飼い主にニュースレターを郵送にて発行（11 月）</li> <li>・ 飼い主の会 ML や村民だよりを通じて対処室からのお知らせ等を発信</li> </ul>
<p>②母島巡回診療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年 3 回、開業獣医師等と連携し、母島での適正飼養指導、健康診断を実施。</li> </ul>	<p>小笠原村 母島獣医師</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母島の獣医師と連携し、「あさぬま動物診療所」を借用して実施</li> <li>・ 6 月はイヌ 7 件、ネコ 1 件、10 月はイヌ 8 件、ネコ 3 件、3 月はイヌ 9 件の診療を実施</li> <li>・ 7～10 月までに冷蔵検体再検査シミュレーションを行い、それを活かして 10 月・3 月の診療では計 6 検体の血液検査を実施</li> </ul>

平成 29 年度事業計画	連携先 / 主担当	実施結果概要
③普及啓発事業 ・年 1 回、外部有識者を招聘し、キャンペーン期間を設定し、講演会等を開催。	小笠原村 獣医師会 ネコ連	・母島小学校 1・2 年生向け出前授業 (10/31) ・小笠原小学校 1 年生向け出前授業 (11/27) ・人とペットと野生動物が共存する島づくりシンポジウム (11/16 母島、11/18 父島) ・島内イベントにてペットの無料相談会、飼いネコの適正飼養講座を実施 (2/2)
④愛玩動物対策事業 ・小笠原村飼い猫適正飼養条例に基づく登録情報の管理や愛玩動物WGで検討されている制度の運用に向けて必要な情報収集や普及啓発等を補助する。	小笠原村 ネコ連	・上記シンポジウムにおいて、愛玩動物WGでの検討状況を周知。

(4) その他

平成 29 年度事業計画	連携先 / 主担当	実施結果概要
①関連会議との連携（ネコ連、愛玩動物WG） ・ネコ連会議への参画を通してネコ連事業との連携を図る ・愛玩動物WGへの参画を通じて、新しい制度や体制の検討を行う	ネコ連 小笠原村	<b>【ネコ連絡会議】</b> ・ネコ連会議に参画 (4/19、7/20) 他機関との情報共有 <b>【ネコ連譲渡促進WG】</b> ・ネコ連の譲渡促進WGに参画 島内譲渡再開に向けた検討、内地向け情報発信強化の検討 (7 回実施 8/1、8/10、8/22、10/17、11/24、12/15、2/8) <b>【愛玩動物WG】</b> ・愛玩動物WGに参画 (1/16、3/28)
②動物由来感染症対策、災害時の衛生管理、油事故汚染対策 ・島内関係機関と連携して対応する	環境省 東京都	・防災訓練時の避難所視察 (11/8)

4. 平成 29 年度の主な事業（太字は協議会主体イベント）

月	日	実施内容	(1)野生	(2)ネコ	(3)ペット
4月	3日 6・7日 14日	荒井獣医師辞令伝達 狂犬病予防注射（父島）狂犬病予防注射（母島） <b>平成 29 年度協議会総会</b> ・前年度事業報告と今年度事業計画・収支計画の決定			
5月	10日 16日 29日	<b>動物対処室一般村民向け開放開始</b> 小笠原世界自然遺産センター開所式 東京都獣医師会自然環境保全活動WGにおいて現状報告			○
6月	2日 20～22日	<b>処置補助員雇用開始</b> <b>母島動物巡回診療</b>			○
7月	25日	<b>第1回幹事会</b> ・第1四半期事業報告、下半期予定、母島動物巡回診療、母島獣医師との連携の検討、オオコウモリのリハビリケージ、レントゲン設備			
8月					
9月	30日	2017 動物感謝デーにおいてPR活動		○	
10月	26日 29～30日 31日	<b>第2回幹事会</b> ・第2四半期事業報告、下半期予定、飼いネコの受診率向上の検討、ペットの飼養状況の把握のための普及啓発等の方策の検討 <b>母島動物巡回診療</b> <b>母島小学校1・2年生向け出前授業（ニワトリとのふれあい教室）</b>			○ ○
11月	5日 16日 18日	世田谷動物フェスティバルにおいてPR活動 人とペットと野生動物が共存する島づくりシンポジウム（父島） 人とペットと野生動物が共存する島づくりシンポジウム（母島）		○	○ ○

月	日	実施内容	(1)野生	(2)ネコ	(3)ペット
	27日	小笠原小学校1年生向け出前授業 (ニワトリとのふれあい教室)			○
12月					
1月	23日	<b>第3回幹事会</b> ・第3四半期事業報告、来年度事業 予定、ネコ連、ハトコウモリ連と当 幹事会との連携・役割分担のあり方 検討、ノネコ対応の軽減化の提案、 専門的な知識と経験を持った動物看 護士の確保の検討			
2月	2日 12日 17～18日	おがニャンDAY2018開催 小笠原DAY2018においてP R活動 ちよだ猫まつり2018において PR活動		○ ○ ○	○
3月	2～3日 11～14日 12日	母島動物巡回診療 避妊・去勢手術の試行 <b>第4回幹事会</b> ・平成30年度事業計画(案)の検討		○	○

## 5. 獣医師業務治療記録概要

### (1) 野生動物 保護された負傷個体 104 個体のうち、26 個体を治療・処置

#### ①オガサワラオコウモリ 計7頭を治療・処置（うち3頭は平成29年度に保護した個体）

##### 【17041701】

- ・4月17日に父島北袋沢の農園にて保護され IBO で飼養中の亜成獣（平成25年2月の調査にてMC装着済）
- ・血液検査、皮下点滴、外用薬塗布、内服薬を実施
- ・治療期間：4月18日～6月1日（診察回数：70回）
- ・12月5日に健康診断、データの蓄積、採血手技の向上を目的として血液検査を実施
- ・野生復帰訓練が可能になるまで回復



左翼第3病日



左翼第93病日



##### 【16062001】

- ・平成28年6月に父島長谷にて保護され IBO で飼養中
- ・血液検査、皮下点滴、外用薬塗布等の処置を実施
- ・治療期間：6月23日～7月20日（診察回数：20回）



##### 【17070601】

- ・7月6日に父島扇浦にて保護（平成28年7月の調査にてMC装着済）
- ・血液検査、皮下点滴、外用薬塗布を実施
- ・治療期間：7月7日～7月13日（診察回数：12回）
- ・7月13日に放獣



##### 【17082501】

- ・8月25日に父島小曲にて保護
- ・簡易な血液検査、保温、皮下点滴、外部寄生虫駆除を実施
- ・治療期間：8月25日～26日（診察回数：1回）
- ・8月26日に死亡



【14080501】

- ・平成 26 年 8 月に父島北袋沢にて保護され IBO で飼養中の老齢  
個体
- ・細菌学的検査、皮下注射、翼膜洗浄、外用薬塗布を実施
- ・治療期間：9 月 7 日～11 月 21 日（診察回数：86 回）
- ・12 月 11 日に死亡



【09112001】

- ・平成 21 年 11 月に父島西町にて保護され IBO で飼養中の幼獣
- ・血液検査、糞便検査、皮下点滴、皮下注射を実施
- ・治療期間：11 月 18 日～21 日（診察回数：6 回）
- ・11 月 21 日に死亡したため、剖検し、麻布大学に病理組織学的  
検査を依頼



【12092701】

- ・平成 24 年 9 月に父島傘山保護され IBO で飼養中
- ・12 月 5 日に健康診断、データの蓄積、採血手技の向  
上を目的として血液検査を実施



②アカガシラカラスバト 計2頭を治療

【17082201】

- ・8 月 22 日に父島大根山にて保護
- ・スワブ検査、皮膚テープ検査、保温、皮下点滴、  
外部寄生虫駆除を実施
- ・治療期間：8 月 22 日（診察回数：1 回）
- ・8 月 23 日に死亡



【18013101】

- ・1 月 3 1 日に父島清瀬にて保護された若鳥
- ・糞便検査、皮下点滴、皮下注射、強制給餌、内服  
薬を実施
- ・治療期間：1 月 3 1 日～2 月 9 日  
（診察回数：10 回）
- ・2 月 19 日に放鳥



### ③海鳥類 計 12羽を治療

- ・シロハラミズナギドリ 2羽
- ・セグロミズナギドリ 1羽
- ・カツオドリ 2羽
- ・ハワイセグロミズナギドリ 1羽
- ・コグンカンドリ 1羽
- ・コアホウドリ 1羽
- ・アナドリ 2羽
- ・オナガミズナギドリ 1羽
- ・シラオネツタイチョウ 1羽

#### 【17053002 シロハラミズナギドリ】

- ・5月30日に父島近くの海上にて保護
- ・血液検査、保温、皮下点滴、油洗浄、強制給餌を実施
- ・治療期間：5月30～31日（診察回数：2回）
- ・5月31日に死亡



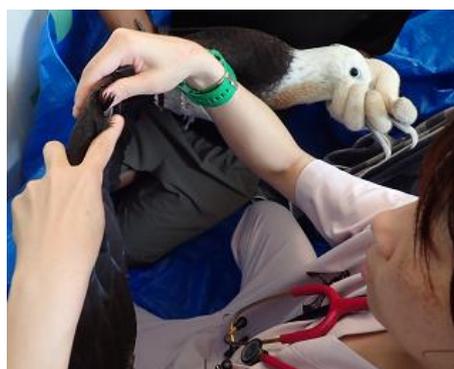
#### 【17061701 セグロミズナギドリ】

- ・6月17日に父島奥村にて保護
- ・血液検査、保温、皮下点滴を実施
- ・治療期間：6月17日（診察回数：2回）
- ・6月18日に放鳥



#### 【17090201 コグンカンドリ】

- ・台風の影響で9月2日に父島北袋沢にて迷鳥として保護
- ・皮下点滴、外部寄生虫駆除を実施
- ・治療期間：9月2日（診察回数：2回）
- ・9月3日に放鳥



#### 【17090401 コアホウドリ】

- ・台風の影響で9月4日に父島周辺の海上にて保護
- ・レントゲン検査、保温、皮下点滴、外部寄生虫駆除を実施
- ・治療期間：9月4～14日（診察回数：5回）
- ・9月15日に放鳥



【17101301 アナドリ】

- ・10月13日に南島鮫池にて溺れているところを保護
- ・保温、皮下点滴を実施
- ・治療期間：10月14～23日（診察回数：10回）
- ・10月24日に放鳥



【17120801 オナガミズナギドリ】

- ・12月8日に父島東町にて保護
- ・皮下点滴、皮下注射を実施
- ・治療期間：12月12日（診察回数：2回）
- ・1月10日に放鳥後、翌日に海上で死体を回収



④その他の鳥類 計10羽を治療

- ・セグロアジサシ 3羽
- ・メジロ 3羽
- ・ツバメ 1羽
- ・オガサワラヒヨドリ 1羽
- ・キョウジョシギ 1羽
- ・ムナグロ 1羽

【17052701 セグロアジサシ】

- ・5月27日に父島奥村にて保護
- ・保温、皮下点滴、経口補液、強制給餌を実施
- ・治療期間：5月27日（診察回数：4回）
- ・5月30日に死亡



【17080801 メジロ】

- ・8月8日に父島東町にて保護
- ・神経学的検査、保温、皮下点滴を実施
- ・治療期間：8月10日（診察回数：1回）
- ・8月13日に死亡



【17090701 オガサワラヒヨドリ】

- ・9月7日に父島西町にて保護
- ・保温、皮下点滴を実施
- ・治療期間：9月7日（診察回数：1回）
- ・9月8日に死亡



【キョウジョシギ】

- ・ 10月29日に母島元地にて保護
- ・ 母島巡回診療の合間に皮下点滴を実施
- ・ 治療期間：10月29日（診察回数：2回）
- ・ 11月3日に死亡



【17110101 ムナグロ】

- ・ 11月1日に父島奥村にて保護
- ・ レントゲン検査、皮下点滴、ボディラップ包帯法を実施
- ・ 治療期間：11月1日（診察回数：4回）
- ・ 11月4日に死亡



(2) 捕獲ネコ 捕獲された97頭のうち22頭を治療・処置

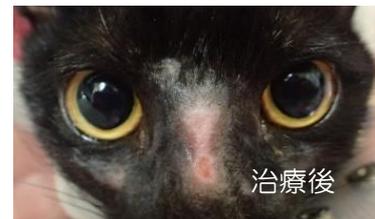
【705 五月】

- ・ 5月6日に父島丸山にて捕獲
- ・ 血液検査、糞便検査、剃毛、洗浄、外用薬塗布、内服薬を実施
- ・ 5月30日に内地搬送



【716 蓮花】

- ・ 6月24日に母島評議平にて捕獲
- ・ レントゲン検査を実施し、妊娠の可能性大
- ・ 7月20日に内地搬送



【724 ハッチ】

- ・ 8月4日に母島南崎にて捕獲
- ・ 糞便検査、尿検査、内部寄生虫駆除を複数回、猫下部尿路疾患用療法食を実施
- ・ 11月19日に内地搬送

【733 KIRYU】

- ・ 9月4日に父島南袋沢にて捕獲
- ・ 血液検査等を実施し、糖尿病と診断
- ・ 糞便検査、糖尿病療法食、皮下点滴、インスリン皮下注射を実施
- ・ 4月1日に内地搬送



【740 福助】

- ・10月11日に父島躑躅山にてネズミ捕獲用わなに挟まっているところを捕獲
- ・血液検査、レントゲン検査、尿検査、糞便検査、保温、静脈注射、皮下点滴、剃毛・洗浄・消毒・縫合等を実施
- ・10月15日に内地搬送



【753 かなみ】

- ・11月10日に父島躑躅山にて捕獲
- ・糞便検査、皮下点滴、皮下注射、内服薬、寄生虫駆除、消化器疾患用療法食を実施
- ・1月22日に内地搬送



【773 キリコ】

- ・1月19日に母島南崎にて捕獲
- ・細菌培養同定、スタンプ検査、皮下点滴、静脈注射、ネブライジング、内服薬、点鼻薬を実施
- ・3月末にねこまちに子ネコが産まれたため、4月中旬に一時的に対処室に隔離
- ・4月20日に内地搬送



【768 睦】

- ・1月6日に父島旭山にて捕獲
- ・3月12日に避妊手術を試行（術前に血液検査、レントゲン検査、貯留液検査、皮下点滴を実施。術後に抜糸、内服薬を処方。）
- ・4月7日に内地搬送



【780 だいち】

- ・2月13日に母島南崎にて捕獲
- ・3月13日に去勢手術を試行（術前に血液検査、レントゲン検査、皮下点滴を実施。術後に内服薬を処方）
- ・4月14日に内地搬送

【781 暁斗】

- ・2月20日に父島夜明道路にて捕獲
- ・3月11日に去勢手術（併せて臍ヘルニア整復術も）を試行（術前に血液検査、レントゲン検査、貯留液検査、皮下点滴を実施。術後に抜歯、内服薬を処方）
- ・4月26日時点で搬送先未定



6. ペット診療の内容

表 1 : 診療内容一覧

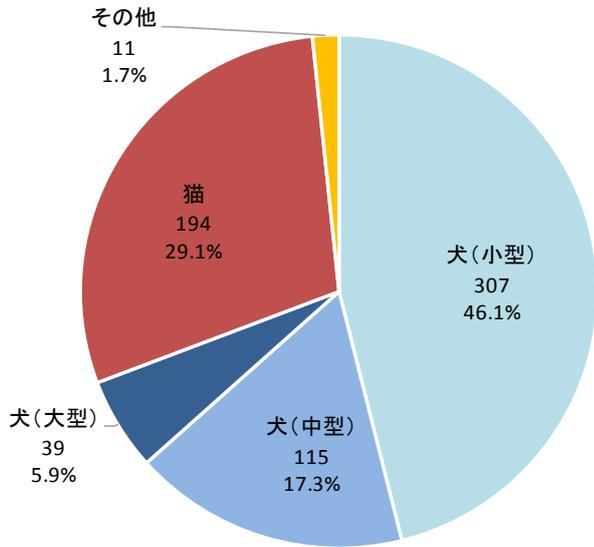


図 1 : 動物種別の診療実績 (平成 29 年度)  
母島動物巡回診療の診療頭数含む

診療内容 (疾患名)	イヌ	ネコ	その他
呼吸器疾患	7	34	0
消化器疾患	47	11	0
泌尿器疾患	59	111	0
生殖器疾患	17	0	0
神経疾患	5	1	0
循環器疾患	79	2	0
眼の疾患	57	29	0
耳の疾患	50	1	0
歯・口腔内疾患	80	0	0
筋骨格系疾患	5	4	0
皮膚疾患	131	11	2
血液・免疫疾患	81	0	0
内分泌疾患	50	0	0
腫瘍疾患	26	55	0
健康診断	13	14	1
食欲不振・元気消失	38	4	6
フィラリア予防	47	2	0
ノミ・ダニ予防	29	9	0
ワクチン接種	29	14	0
マイクロチップ装着	2	2	0
その他(療法食のみ など)	19	20	3
合計	871	324	12

※1 件で複数の診療内容の場合があるため、診療実績と診療内容数の合計は異なる。

表 2 : 平成 29 年度の診療状況

		イヌ	ネコ	その他*	計
対処室受診	診療数 (頭) ①	43	29	5	77
	マイクロチップ装着数 (頭) ②	32	27	0	50
	マイクロチップ装着率 ③=②/①	74.4%	93.1%	0%	75.8%
	死亡・移転・一時滞在の数 (頭) ④	4	5	0	9
	現在のカルテ数 (頭) ⑤=①-④	39	24	5	68
(イヌ・ネコのみ) 台帳登録	台帳登録数 (頭) ⑥ 平成 30 年 3 月末現在	78	71	—	149
	対処室受診率 ⑦=⑤/⑥	50.0%	33.8%	—	42.3%
	マイクロチップ装着数 (頭) ⑧	46	64	—	110
	マイクロチップ装着率 ⑨=⑧/⑥	59.0%	90.1%	—	73.8%

※モルモット 3 頭、ハリネズミ 1 頭、ニワトリ 1 羽